

社民党

渡辺みのる通信

● 第 19 号 ●

発行日 / 2012年(平成24)5月(4月議会号)
 発行 / 渡辺みのる後援会
 石川町大字北山形字引地1
 電話&FAX 0247-26-6994
 携帯 090-2798-0434



写真説明 田の脇を流れる用水路の縁に、ふきのとうが花を付けています。農作業もはじまり、人の動きもあわただしく、春の風が心地よく感じられます。

**2年目、しっかりと放射能対策が必要
消費税10%は、弱いものいじめ**

4月半ばになっても肌寒く、桜の花もやっと25日に満開と、大変遅い春の訪れとなっています。

3月、4月は卒業や退職と人との別れがある反面、入学や入社と新しい出発と新たな人との出会いがあり、新しい環境での生活がスタートします。

3月議会は町の1年間の事業や予算を決める大事な議会です。今回は「放射能から町民の健康を守る対策」と「学校統合の今後の進め方」、「地震や台風災害の今後の復旧計画」の3点を質問しました。

町の現状は人口減少、企業の撤退、商店の休業など大変な状況です。そこに、復興増税があり、消費税10%の増税がされようとしています。


放射能対策も、なかなか進んでいません。福島原発の事故検証もされない中で、原発の再稼働がされようとしています。放射能にしっかり対応し、企業誘致、産業の育成に力を注ぎたいと考えています。

**金星・月・木星
天体ショーの感動**

3月26日、夕暮れから西の空に金星と三日月、そして、木星が縦一列に並んだ天体ショーを見ることができました。当夜は晴れていて、非常に寒い夜でしたが、肉眼でもすっきりくっきり見ることができました。

国立天文台によると金星月木星が一直線に並ぶのは2004年11月以来。次は2015年6月に近づくと整列するとは限らないそうです。

さらに、今年は5月21日朝には、月が太陽を隠し、太陽がリング状に輝く金環日食が見られるそうです。



▲スギの穂先に並ぶ木星・月・金星

◆一般質問から◆

渡辺：ホールボデイカウンター検査費用6千円に助成を 町長：今のところ考えていません

渡辺 放射能対策で、町民の健康を守るため、健康診断や被ばく低減の方策が必要でないか。学校や保育所の校庭表土対策や通学路の除染を実施。放射能測定機を整備し、貸出や井戸水・自家用野菜などの測定を行っています。1月から給食食材も検査しています。

町長 また、ひらた中央病院と契約し、ホールボデイカウンター検査ができるようにしました。18歳以下の子どもは無料ですが、大人は6,000円かかります。

県が計画している18以下の子どもの甲状腺ガン検査や19才以上の方の健康診断も生涯にわたり実施していきます。

渡辺 石川は放射能が低いから安全とってないか。放射能はこれ以下なら安全という値はない。

町長 町民の健康対策の万全を期します。



▲重なるように成長するシイタケも、出荷できず、情けない

渡辺 何十年も町民の健康診断を続けることが大事です。県が示した検査項目はこれまでのメタボ検診項目と変わらない。避難区域住民の検査項目、赤血球や白血球、血小板検査を加えるべきでないか。放射線による影響検診項目を加える考えは。

町長 国県の指導を受け、適切に対応します。

渡辺 チェノブエリでは膀胱ガンや膀胱炎が多く発生しているとの報告もあり、検査項目の検討を。ひらた中央病院のホールボデイカウンターの活用で、大人の6,000円に助成の考えは。

町長 町補助はありません。

渡辺 それでは6,000円を東電に損害賠償請求する考えは。

町長 今のところありません。多く申し出があれば再考しなければなりません。

渡辺 受診者が少なくは意味が薄れるので、子どもの検診を学校単位で、まとめてできないか。

教育長 現時点では考えていません。

渡辺 脱原発の考えは。

町長 原発は今後取り組み必要ないと考えています。

渡辺 給食食材の検査は、1週間に1品だけ検査でなく、もっと検査数を増やすよう要望します。

また、放射能問題を学校や社会教育の面から取り組むように要望します。

▼昨年5月に、八幡山頂境内に建てられた吉田露珊句碑



子どもの未来のために④

今年から、学校で放射線の授業がスタート

今年は、いつもの年より春の足音がゆっくり聞こえます。校庭の桜も、子どもたちに見上げてもらえる日を心待ちにしているようです。そんな遅い春が福島県の復興と重なっています。

今年度から県内すべての学校で、放射線に関する学習が行われることになっています。しかし、どんな資料を使って、何に焦点をあてて授業を行うのかなど、明確になっていません。放射能をめぐっては、専門家でも意見が分かれていますからです。「少しでも浴び続けていくことは危険」なのか、「放射線量が低ければ安全」なのか…。健康への影響は、誰にも分からないのが正直なところ。にもかかわらず、授業を行わなければならない教師の心境は複雑です。

4月からスタートした2012年度。放射線量は横ばい状態です。プールでの学習はどうなるのか。花壇や畑を使った栽培活動はどうなるのか。運動会は。各学校では、職員会議やPTA総会などを通して、今後の見通しを決めたところではないかと思えます。子どもたちのために何を行い、何をしないでいいのか、学校やPTAが手をたずさえて、しっかりと議論をしていくことが必要ではないでしょうか。(K・H)

消防団員の出動手当が改善 3月議会で条例改正

消防団員が火災や災害、訓練に出動した場合や機械点検時の出動手当が改善されました。

今までは火災出動や訓練、検閲などによって、細かく分かれていたが、4月から1回千円に改善され、次のようになりました。

区分	出動手当の金額	備考
災害・警戒・訓練	1回 1,000円	検閲、出初めを含む
機械点検	年 12,500円	自動車ポンプ
機械点検	年 9,500円	積載車
機械点検	年 5,000円	小型ポンプ

◆平成24年度予算◆ **新庁舎建設に3千万円、復旧復興に1億4千万円、学校統合に2百万円を計上**

復興元年という位置づけで、県は伸び率75%の大型の予算を計上したが、町は0.9%の伸びにとどまった。今後、20年30年後のまちづくりに向けた長期計画策定と財源の確保に努力していかなければならないと考えます。

町税の状況…予算の25.4%
個人町民税4億7千万円、法人町民税8千6百万円

税の種類	予算額(千円)	前年度比
町民税	556,916	2.6%増
固定資産税	800,196	7.7%減
軽自動車税	38,205	0.8%増
たばこ税	91,546	5.5%増
入湯税	10,500	44.3%減
計	1,497,502	3.6%減

国から補てんされる交付税の推移…予算の43.1%

20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
25億 2千万円	24億 8千万円	25億 8千万円	27億円	25億 4千万円

町予算は国の交付税によって、大きく左右されます

目的別の予算の状況

民生費……	18億8千万円	社会福祉費(老人福祉、障害者福祉、介護保険)、児童福祉費
総務費……	9億5千万円	総務管理費、徴税費 戸籍、住民基本台帳費、選挙費
衛生費……	6億3千万円	保健衛生費、清掃費
教育費……	4億8千万円	小中学校費、社会教育費
消防費……	3億7千万円	消防費、消防施設費 防災費
土木費……	3億2千万円	道路橋梁費、河川費 都市計画費、住宅費
農林業費…	3億2千万円	農業費、林業費、商工費



▲満開の桜の下で、学業に励む石川中の生徒たち



▲1月28日、開かれた第4回町民かるた大会

主な新規拡大事業と予算額 単位千円

事業名	事業の概要	予算額
農用地除染事業	農用地モニタリング 堆肥等一時保管資材 草地更新補助金	8,935
風評被害産業支援	首都圏キャンペーン実施	7,414
東日本大震災関連 農業振興	農作物放射能測定 カリ資材供給補助金 農畜産物検査補助金	7,175
地域活性化対策	プレミアム商品券助成	3,300
中学校施設管理	石川中屋体耐震設計	16,000
除染事業	仮置き場管理経費 個人除染支援 詳細調査モニタリング	26,631
防災無線難聴調査	防災ラジオの購入	2,100

予算額が大きな事業ベスト10

・国民健康保険事業	20億2千万円
・介護保険事業	14億6千万円
・後期高齢者医療事業	4億8千万円
・石川地方施設組合負担金	3億4千万円
・消防事業	3億3千万円
・道路維持整備事業	2億9千万円
・子ども手当支給事業	2億7千万円
・障害者自立支援事業	1億9千万円
・簡易水道事業	1億2千万円



▲北山形の種まき桜

食品の放射性セシウムの新基準

一般食品100ベクレル、飲料水10ベクレル、乳幼児食品50ベクレル

土壌や食品の放射性物質の量や各地区の空間線量などが測定され、次第に町内の放射能汚染の実態が明らかになってきています。4月から食品中のセシウムの基準が厳しくなりました。一般食品100、牛乳50、飲料水10、乳児用食品50、土壌1,000です。単位は**bq/kg** (石川町ホームページより作成)

土壌調査(農業委員会)田 (bq/kg)

採取箇所	検査結果
字王子平	199.2
字境ノ内	132.1
字外国見	130.7
字猫啼	80.0
字梁瀬	161.5
大字沢井字川井	157.1
字藤沢	131.0
字真明田	306.0
大字赤羽字上森屋段	242.6
字仲ノ町	225.7
大字山形字兎田	266.0
字大下	218.0
字関田	339.0
字若林	255.0
大字板橋字犬ヶ馬場	328.0
字女庭	369.0
字八升蒔	222.9
大字南山形字金平	607.0
字笹目田	211.0
大字北山形字大平	152.0
字細田	150.5
大字双里字谷津前	71.8
大字形見字尾巻	143.6
大字谷沢字館ノ腰	202.0
大字坂路字馬場宿	227.0
大字谷地字関本	184.6
大字中田字北大塚	131.4
字八又	113.9
大字母畑字牛沼	328.0
字小田口	222.8
大字湯郷渡字瀬戸	160.4
字湯坂	263.0
大字北山字上村松	253.0
字羽貫田	313.0
大字中野字矢ノ内	165.1
字杉内	78.0
大字曲木字戸ノ内	167.0
大字塩沢字割田作	116.7

田と畑115ヶ所の内、田の抜粋

山林内空間線量(県農林水産部) ($\mu\text{sv/h}$)

場所	調査日	線量(1mの高さ)	樹種
大字湯郷渡	11/21	0.22	スギ
大字山形	11/21	0.23	アカマツ
大字中田	12/05	0.31	ヒノキ

町内農産物・井戸水の検査(町測定所) (bq/kg)

品目	採取場所	測定日	セシウム
玄米	大字沢井	2/7	不検出
//	大字山形	2/8	//
//	大字谷沢	3/2	//
//	大字南山形	3/30	//
井戸水	大字塩沢	2/6	//
//	大字双里	2/7	//
湧水	字下泉	2/8	//
引き水	大字中田	2/17	//
//	大字北山	3/23	//
井戸水	大字母畑	3/27	//
ほうれん草	字外国見	2/6	//
ごぼう	大字板橋	2/7	//
白菜	大字形見	2/14	//
ネギ	大字沢井	2/17	//
小松菜	大字塩沢	3/9	//
白菜	大字湯郷渡	3/14	//
ふきのとう	大字新屋敷	3/28	40
干しヒラタケ	大字板橋	2/15	747
凍大根	大字中田	2/24	30
いもがら	大字双里	2/28	80
生シイタケ	大字中田	3/7	113
大豆	大字南山形	3/30	不検出

セシウムは137+134の合計、検出限界値30**bq/kg**
個人から持ち込まれた農産物等から抜粋

町内測定所による空間線量 ($\mu\text{sv/h}$)

調査日	場所	線量
4/26	北山形集会所	0.214
	東光寺広場前	0.200
	二ホンブナ	0.183
	総合運動公園	0.170
	母畑レークサイドセンター	0.169

町内33ヶ所の内高い場所5ヶ所、地上1mの高さ

春の息吹を感じ、元気をもらい、人もがんばろう

例年になく寒い日々が続き、春の訪れが待ち遠しい今年でしたが、春の空気を感じる野山風景や草花を集めてみました。これらは北山形の花たちです。

ふくらみ始めた桜の木の前にいると、開花を待ちわび、心の中でがんばれと祈っている自分に気がきます。誰も、精一杯の力で花を咲かせ、芽吹く草木や自然の生命力に感動を覚えます。



▲春の主役、オオイヌノフグリ



▲芝生などで小さな花を付けるフデリンドウ



▲湿地に生えるネコノメソウ



▲可憐な花のヤマエンゴサク



▲群生となるヒメオドリコソウ



▲南向きの雑木林に咲く、シュンラン



▲どこにでも見られるカキドウシ



▲北向き土手に見られるカタクリ

さくらまつりで、ごみ拾い 物の豊かさを、モラルの豊かさに

4月7日、さくらまつり実行委員会の皆さんで、ごみ拾いを行いました。タイヤや傘、ビニール、長靴、空き缶などたくさん回収されました。

多く人たちによって、年に何回となく、ごみ拾いが行われてるにもかかわらず、残念です。

では、町でごみが問題になり始めたのは、いつからか、なぜ解決しないのかと思います。

昭和26年の町館報にごみ収集を願う投書が載せられていますので、この頃から問題になっていたようです。町で、ごみ収集を始めたのは、昭和30年代初めであり、初めは馬車で収集され、焼却窯で燃やしていました。そして、昭和36年に自動車による収集が始まりました。当時は可燃ごみ、不燃ごみの区別がなく、処理に苦労されたようです。昭和42年か

ら不燃ごみの収集も開始しました。

しかし不法投棄が後を絶たず、40年代、50年代には「ごみ公害から環境を守ろう」と広報などで、何度となく特集が組まれています。大量消費、使い捨ての時代に、人のモラルが失われた結果です。

平成になると、資源ごみの収集も始められ、14年から17分別収集がスタートしました。しかし、未だに不法投棄があとを絶ちません。

来年は空き缶1個でも少なくなることを願っています。



▲土手一面に広がるスイセン

社民党

渡辺みのる通信

● 第 20 号 ●

発行日 / 2012年(平成24)7月(6月議会号)

発行 / 渡辺みのる後援会

石川町大字北山形字引地1

電話 & FAX 0247-26-6994

携帯 090-2798-0434



写真説明

ツル植物であるマタタビの花である。杉や雑木にからまり、伸びていき、ついには全体を覆い隠すようになる。花は純白で可憐である。葉の下に、下向きに咲く。

消費税値上げと電気料金値上げに怒り

今年の梅雨は、7月に入りやっと雨という感じです。九州や西日本は大雨で、大変な被害が出ています。

6月議会は、17日に日曜議会を開きました。傍聴者も通常よりは多くの方に、足を運んで頂き感謝しています。

一般質問は「放射能対策と職員体制の充実」「がん対策推進計画策定」「太陽光発電の推進」「鉱物の町、ジオパークの設置」について町長の考えを質しました。

大飯原発の再稼働を認め、消費税の値上げを決定、家庭の電気料金値上げ、そして、震災復興増税と野田民主党政権は国民の生活優先ではありません。

財界の利益優先の政権となってしまいました。

町の話題は、役場庁舎建設の場所であり、これから本格的な議論になります。町民の声を反映させ、町発展の土台になるようにしなければなりません。

旬の豆だんごに感謝

先日、親戚から「豆だんご」をいただき、早速、新じゃがとインゲンのみそ汁を味わいました。

この旬の香りと味は格別です。

食べてから、放射能は大丈夫だったのか、少くらい良いのでは、という気持ちとが入りまじります。

6月半ば、梅雨の晴れ間に、岩手の焼石岳に友人と登ってきました。

残雪と咲き競う高山植物に心が洗われ、疲れをしばし忘れさせてくれました。さすが花の百名山。



▲お花畑と残雪の焼石岳

◆一般質問から◆

渡辺：秋の生産米の全袋検査体制は 町長：2台の機械で対応、体制を整備中

渡辺 昨年原発事故で、20年も30年も放射能の恐怖と共に、生きていかなければならない。今、調査や健康対策、農業対策などしっかり体制を整備しなければなりません。国・県・町の行政の役割は重大が多い。

先ず、空間線量調査の現状と課題を伺います。

町長 これまで空間線量調査は506ヶ所で実施。今年度は1,800ヶ所で実施の予定です。

渡辺 固定測定所は30ヶ所あるが、集落とか、工場とかの周辺での調査は継続的に必要ではないか。

町長 1年2年で止める問題でない、当分は続けます。

渡辺 食品の検査状況は。

町長 4月から新しい基準。4

台の機械で検査し、山菜時期は非常に混雑したが、今は十分対応しています。米の全袋検査は、2台の機械で対応、体制を整備中です。



▲風に揺れるオカトラノオの花

渡辺 専門の検査機関の設置を国や東電に求める考えは。

町長 必要と考えている。県や国に要望します。

渡辺 食材の検査で、基準を超えた時、町民への連絡は。

町長 隠し事せず、連絡や指導を行います。

渡辺 町民の健康対策を伺います。

町長 ひらた中央病院とホールボディカウンター検査の契約をし、大人も子どもも検査できるようにしました。18歳以下甲状腺検査、19才以上の健康診断を実施します。

渡辺 ホールボディカウンター検査料への補助と子どもたちの集団検診の考えは。

町長 従前の考えです。

渡辺 行政区での除染補助希望箇所は

町長 2ヶ所です。通常の清掃草刈りと除染は区別しています。

渡辺 放射能対策で、職員体制を充実する考えは。

町長 今、現在、増員する考えはもっていない。



▶7月5日、母畑レークサイドの「母衣旗」オープン

**渡辺：がん検査PETへの助成を
町長：検討します**

渡辺 2人に1人ががんに罹り、3人に1人ががんで死亡しています。国は平成12年に法律を作り、6月8日に第2期計画を閣議決定しました。県も対策計画を作り推進しています。町は。

町長 町も平成17年から死亡第1位で、早期発見のため健康診断が大事、しかし、検診率は肺がんで32.6%、胃ガン15.7%と県平均よりも低い。今後、「健康いしかわ21」の見直しを行い、推進します。

～どうなる今年の国民健康保険税～

一世帯169,644円に、一人97,964円に 今年の国保税は昨年と比較して一世帯当たり、680円減額、1人当たり1,034円アップします。

今6月議会で改正となりました。

**大飯原発再稼働に反対する請願採択
野田内閣総理大臣に意見書提出**

6月議会で、請願を採択し、反対の意見書を衆・参議院議長、内閣総理大臣等に提出しました。

これでいいの！戦争の出来る国を目指し、 憲法改正論活発化



昨年の大震災を受けて、緊急事態条項の挿入などの動きが活発に。さらに昨年6月、「憲法第96条改正を目指す議員連盟」が民主、自民、公明、みんなの党議員100名余で結成。さらに11月、国会の憲法審査会が始動し、憲法改正の動きが活発化しています。

自民党の改正草案は、

- ①天皇の元首復活(今は象徴)
- ②国家は君が代、国旗は日章旗、元号の明文化
- ③国防軍を明文化、内閣総理大臣を最高指揮官
- ④緊急事態に国の責任で、在外国民の保護
- ⑤内閣総理大臣に緊急事態時の条項を挿入
- ⑥憲法改正発議を両院議員の3分2から2分の1に
- ⑦改正国民投票を3分の2から2分の1に

これに併せて、石原東京都知事の「憲法破棄」発言、橋本大阪知事の「国家元首は天皇、9条批判」発言、民主党改憲の動きなど非常に危険な動きです。

子どもや孫のために、再び戦場に若者を送ることのないように、憲法改正の動きを止めなければなりません。阻止は選挙によって、可能です。

◆一般質問から◆

**渡辺：太陽光発電の補助金はいくら？ 開パ遊休地などメガソーラー設置を積極的に
町長：1Kw当たり国と県で8万円から8.5万円**

渡辺 町の太陽光発電の推進策を伺う。

町長 7月1日から固定価格買取がスタートします。補助金は1Kw当たり、県と国で8万円から8.5万円です。

渡辺 県内33市町村で上乘せ補助をしている。町の考えは。

町長 精査し、検討します。

渡辺 メガソーラー設置の考えは。県で候補地を募集中。

町長 町有地の提示はしていない。



盛会だった第7回板仲あやめまつり

子どもの未来のために

**震災後、生まれた赤ちゃんは1歳4ヶ月
子どもの未来は、大人の責任で**

上野動物園のパンダ・シンシンに、赤ちゃんが誕生したといううれしいニュースが届きました。

それを聞きながら、震災後、福島県に誕生した子どものことを思いました。震災直後に生まれた子は、もう1歳4ヶ月になります。きっと、自分の足で大地を踏みしめているでしょうし、大人に近い食事もできるようになっていることでしょう。

その土の放射能は…、食材の安全は…。わが子の成長の喜びと、将来にわたって続く健康リスクへの心配、複雑な思いにかられます。

今年、石川郡内の小中学校では、屋内プールのある古殿町を除いて、屋外プール学習を再開しました。子どもの入水の可否は、保護者の判断に任されました。「みんなとプールに入りたい」という子どもに、しぶしぶ承諾した親さん、泣く泣く我慢させた親さん、悩みが深かった方もいたと聞いています。

重要なことは、いずれの選択に対しても子どもたちが差別を受けることなく、それぞれの考えが尊重されるかどうかです。

福島の「福」は、幸福の「福」です。福島に真の幸せが訪れたとき、震災後の日本に本当の意味での幸福が訪れるということ、多くの人に忘れさせてはならないと思います。(K・H)

**渡辺：鉾物の町、石川ジオパークを
教育長：将来に向けた検討課題**

渡辺 鉾物の町、石川を世界にアピールする機会、経済効果も期待、取り組む考えは。

教育長 ジオパークは大地の公園といわれており、検討課題です。

渡辺 石川は戦前、日本の原爆研究の舞台であった。この歴史の調査整理及び史跡保存の考えは。

教育長 委員会で十分検討します。

渡辺 鉾物保護調査委員会の設置は。

教育長 休止している委員会を活動できるようにします。

— ジオパークとは —

ユネスコが提唱しているもので、地球上の重要な地質遺産を認定し、保全、教育、親しみながら地域経済に貢献するというもの。日本には世界ジオパークが5ヶ所、日本ジオパークが15ヶ所認定になっている。昨年9月磐梯山も認定になった。

日本三大鉾物の産地石川を整備、保全、アピールするのによい機会である。



5月2日、角田市議会との親善パークゴルフ大会

千五沢ダムの点検を重視し、避難訓練が必要

6月に「千五沢ダム浸水想定マップ」が全家庭に配布されました。万一、ダムが決壊した時、各地点での浸水の深さと時間を想定し、避難道路が示されています。

橋の浸水開始と最高浸水水位

場 所	水位上昇開始	最高浸水水位	橋浸水開始
母畑の北須橋	9分	5m以上	10分
北町の稲荷橋	16分	5m以上	17分
三芦橋	22分	5m以上	27分
松岡橋	29分	3~4m未満	43分
沢田の鳥内橋	62分	5m以上	78分

今後、避難道路の整備や避難訓練を行いながら、災害に備えることが必要です。人間がつくった物は必ず壊れるし、災害は忘れた頃にやってきます。マップづくりはその第1歩です。

